

令和8年5月12日

都道府県体操協会（連盟）会長 殿
ブロック体操協会事務局 殿
各ブロック代表者 殿

公益財団法人日本体操協会
専務理事 鹿島 丈博
審判委員長 櫻井里枝子
地域委員長 尾寄 隆之
国体担当 葛西 玲広

第80回国民スポーツ大会〔体操〕各競技種別の適用ルールについて（通達）

平素より本会の諸事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、標記の件、国民スポーツ大会〔体操〕実施要項には、適用ルールの具体的な記載はせず、当該年度の初めに別途、本会より適用ルールを都道府県協会・連盟に通達することとなっております。

ここに「国民スポーツ大会体操競技会、各競技種別適用ルール」を通達いたしますので、関係各所への伝達、周知を宜しくお願いいたします。

記

(1) 体操競技適用ルール

- 成年男子は、「2025年版採点規則及び体操競技情報最新号」を適用する。
- 成年女子は、「2025年版採点規則・変更規則Ⅰ及び女子体操競技情報最新号」を適用する。
- 少年男子は、「2025年版高等学校男子適用規則及び体操競技情報最新号」を適用する。
- 少年女子は、「2025年版採点規則・変更規則Ⅰ及び女子体操競技情報最新号」を適用する。

(2) 新体操適用ルール

- 少年男子は、「2025年版公財日本体操協会新体操男子採点規則および高体連適用規則（2026年2月改訂を含む）」を採用する。タイブレーク決定方法は採点規則で指定されたものとする。
- 少年女子は、「2025-2028 公財日本体操協会採点規則シニアルールと令和8年2月高体連適用ルール」を適用する。
*団体競技はボール5

(3) トランポリン適用ルール

- 「2025年版トランポリン採点規則及び審判本部からの情報最新版」を適用する。ただし以下に定めるルールについては採点規則に優先して適用される。

予選は特別要求のある第1自由演技（Eスコア、Hスコア、Tスコアの合計）と、第2自由演技の合計得点により順位を決定する。予選のタイブレークは、第2自由演技に対して採点規則で指定された方法（Tスコア、Hスコア、Dスコアの順）で決定する。

【特別要求】

演技は10種目の異なった種目で構成し、「前方の270度以上の宙返り」と「後方の270度以上の宙返り」をそれぞれ1回以上行わなければならない。これらの要求種目が欠如した場合は、合計点から2.0の減点がなされる。

以上